

総括シート

組織名	緑政土木局	組織長職氏名	緑政土木局長 河田 誠一
-----	-------	--------	--------------

◆施策にかかる経費等執行状況一覧

施策		令和4年度 事業数	平成30年度 決算額(千円)	令和4年度 支出済額(千円)	増減(千円、%)	
16	災害に強い都市基盤の整備を進めます	9	6,698,632	11,586,461	4,887,829	73.0%
17	防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します	3	107,158	166,600	59,442	55.5%
19	犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます	3	1,626,492	2,255,421	628,929	38.7%
22	消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します	1	339	138	△ 201	△ 59.3%
24	身近な自然や農にふれあう環境をつくれます	15	11,222,190	24,212,394	12,990,204	115.8%
26	良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します	8	7,725,807	5,076,580	△ 2,649,227	△ 34.3%
27	歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します	3	989,928	973,517	△ 16,411	△ 1.7%
35	港・水辺の魅力向上をはかります	1	46,997	91,746	44,749	95.2%
38	観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します	2	2,308,577	4,146,276	1,837,699	79.6%
45	公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます	14	16,808,934	22,992,642	6,183,708	36.8%
計		59	47,535,054	71,501,775	23,966,721	50.4%

◆組織を取り巻く状況と今後の予測

近年、南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、豪雨災害が頻発化・激甚化する中、現在、防災・減災対策を推進しているところであるが、引き続き、橋りょうや河川堤防などの耐震対策や河川整備など、地域強靱化や流域治水の考え方にに基づき、ハード・ソフト両面で、災害に強いまちづくりに向けて各事業を一層推進していくことが求められる。

当局の保有する道路、河川、公園などの公共土木施設の多くが今後一斉に更新時期を迎えることから、それに伴い大きな財政負担が見込まれる。そのため、当局では「名古屋市公共施設等総合管理計画」などに基づき、施設の特性に応じた適切な維持管理・更新を実施しているが、今後も計画的・効果的な維持管理・更新を着実に実施していくことが必要である。

市内の民有樹林地や農地について、都市化の進行により減少していくことが危惧されるため、身近な自然や農にふれあう環境づくりに資する事業を進め、緑や農の保全・創出につとめることが必要である。

多くの観光客が訪れる活気あふれる都市の実現に向けては、東山動植物園再生プランの実施をはじめ、所管施設の魅力向上に資する事業を推進していくことが求められる。

当局の事業の推進にあたっては、今後とも厳しい財政状況が予想されるため、継続的に必要な財源の確保につとめるとともに、脱炭素社会の実現に向けた動きの加速や急速なデジタル化、働き方改革など社会状況の変化に伴う価値観の多様化が進むなか、局保有資産の有効活用や魅力向上、公民連携を進めるなど、より一層効果的・効率的で持続可能な事業執行に取り組む必要があると考える。

◆総括

当局は、道路、河川、緑地、農業などの適切な社会基盤（インフラ）を市民に提供・サービスする組織として、目標の実現に向け、「災害に備える」、「明日につなぐ」、「資産を活かす」の3点を意識した取り組みを行ってきた。厳しい財政状況の中、各施策における組織目標の達成に向けて、概ね順調に事業を進めてきたところである。

今後も、市民生活を支える道路、河川、緑地、農業などの社会基盤の整備等を着実に進めるとともに、災害対策や交通安全対策などを行い、安心・安全なまちづくりを推進する。また、堀川をはじめとする水辺空間におけるにぎわいの創出や東山動植物園の魅力向上をはかるなど、本市の魅力向上に資する事業を推進していくほか、公園経営の推進や農業公園の運営などを通じて市民が自然や農にふれあう環境づくりを行う。局所管事業の推進にあたっては、局保有資産の有効活用や公民連携を進めるなど多角的に取り組んでいく。

施策シート

施策 16 災害に強い都市基盤の整備を進めます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織目標 橋りょうや河川堤防などの耐震対策及び街区の世界座標化などを行うことで、地震に対する都市の防災力を高める。また、河川整備やため池の改良などの治水対策を行い、大雨に強いまちづくりを進める。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
河川・排水施設の耐震化	☆☆☆☆	—		① 災害に強いまちづくりができていると思う市民の割合	5	55%	51.8%	56.0%
電線類の地中化	☆☆☆☆	—						
歩道橋の耐震化	☆☆☆☆	—						
街区の世界座標化の推進	☆☆☆☆	—						
河川の整備	☆☆☆☆	—						
ため池の改良	☆☆☆☆	—						
土地改良区の排水機場等の長寿命化	☆☆☆☆	—						
ため池の耐震化	—	—	—	備考				
橋りょうの耐震化	☆☆☆☆	—		② 緊急輸送道路等にかかる橋りょうの耐震化率	5	75%	66.1%	74.5%
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	6,698,632	(605,398)	11,586,461	(554,623)	4,887,829	(△50,775)	
							73.0%

今後の方向性

南海トラフ巨大地震の発生が懸念され、豪雨災害が頻発化・激甚化する中、組織目標の達成に向け、防災力を向上させるため、今後も必要な財源の確保につとめ、各事業を計画的に推進する。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策16）

個別事業の実施状況							
施策	16	災害に強い都市基盤の整備を進めます					

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
橋りょうの耐震化 (道路建設課)	災害時に緊急車両・物資の輸送ルートを確保するため、緊急輸送道路等の橋りょうの耐震補強や改築を実施	耐震補強 ▶完了 10橋(5か年) 耐震改築 ▶完了 1橋(5か年)	耐震補強 ▶完了 14橋(4か年) ▶事業中 6橋 耐震改築 ▶完了 1橋(4か年)	☆☆☆☆	1,769,720 (138,593)	2,103,362 (149,011)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
河川・排水施設の耐震化 (河川工務課)	南海トラフ巨大地震をはじめとする地震・津波に備えるため、河川堤防や排水施設の耐震対策を実施	山崎川堤防の耐震化延長 9,200m(累計) 排水施設の耐震化 ▶ポンプ所 7か所(累計) ▶排水路 検討・実施 大江川の地震・津波対策	山崎川堤防の耐震化延長 9,200m(累計) 排水施設の耐震化 ▶ポンプ所 5か所(累計) ▶排水路 実施 工事の実施	☆☆☆☆	1,560,577 (80,715)	1,707,902 (51,026)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
電線類の地中化 (道路建設課)	災害時における緊急輸送道路・避難空間の確保や消火・救助活動の円滑化、安全かつ円滑な交通の確保、良好な景観の形成のため、電線共同溝をはじめとした多様な整備手法による電線類の地中化を実施	事業中 ▶名古屋環状線 事業完了 ▶新出来町線 ▶東志賀町線	事業中 ▶名古屋環状線 ▶新出来町線 ▶広小路線 ▶梅ノ木線 ▶東海橋線 事業完了 ▶東志賀町線(令和元年度) ▶葵町線(令和4年12月)	☆☆☆☆	232,636 (19,006)	1,770,068 (176,127)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
歩道橋の耐震化 (道路維持課)	地震時の落橋を防止するため、熊本地震により落橋した橋脚と同様の構造を持つ高蔵跨線橋の耐震補強を実施	工事完了	鉄道事業者との協議・調整、工事实施	☆☆☆☆	0 (0)	3,394 (394)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
街区の世界座標化の推進 (道路利活用課)	地震発生時の液状化現象等により不明確となった街区の位置を復元するため、街区の世界座標データ化を実施	実施 市域の50%程度(累計)	実施 市域の50.0%(累計)	☆☆☆☆	130,119 (129,105)	42,411 (2,133)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策16）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
河川の整備 (河川工務課)	浸水被害の軽減をはかるため、早期改修の必要性の高い堀川、山崎川などの河川改修を推進するとともに、平成30年7月豪雨を踏まえて、堤防強化等の緊急対策を実施	堀川の整備率 (63mm/h降雨対応率) 48.0% 平成30年7月豪雨を踏まえた堤防強化等の緊急対策の実施 4河川(5か年)	堀川の整備率 (63mm/h降雨対応率) 48.0% 平成30年7月豪雨を踏まえた堤防強化等の緊急対策の実施 4河川(4か年)	☆☆☆☆	2,979,839 (220,238)	5,763,535 (171,196)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
ため池の改良 (河川工務課)	平成30年7月豪雨のような近年激甚化する豪雨に対して、ため池堤体の決壊を防ぐため、安全性を評価し、必要に応じて改良を実施	能力調査 ため池の改良	能力調査の実施 ▶完了(令和2年度) ため池の設計の実施 ため池の改良	☆☆☆☆	27,311 (0)	152,941 (2,366)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	元	
土地改良区の排水機場等の長寿命化 (都市農業課)	浸水被害の軽減のため、老朽化した土地改良区の排水機場の機能診断の実施、機能保全計画の作成、それに基づく改修事業に応分の補助を行い、施設の長寿命化を支援	改修工事 ▶事業完了 1か所(5か年)	改修工事 ▶事業完了 1か所	☆☆☆☆	25,741 (17,741)	4,370 (2,370)	4
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
ため池の耐震化 (河川工務課、緑地 事業課、東山総合 公園)	ため池の耐震対策数	4	耐震調査 17池	—	—	26池	— (-)	38,478 (0)	2
					—		—		
	ため池の耐震性を評価し、必要に応じて対策を実施								
(関連成果指標)①	備考	令和4年度開始							

施策シート

施策 17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織 目標	関係局と連携し、ハザードマップの見直し、作成を行い、地域防災力の向上を促進する。また土木事務所の防災体制を維持強化するとともに、道路河川等の防災情報の収集・提供などを行い、避難対策、避難生活支援を推進する。								
	個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
			実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
	水防法改正等に伴うハザードマップの見直し・作成	☆☆☆☆	—	① 家庭内において災害に対する備えをしている市民の割合	5	100%	59.1%	57.6%	
	土木事務所の防災体制の維持・強化	☆☆☆☆	—						
	道路・河川等の防災情報の収集・提供	☆☆☆☆	—	備考					

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	107,158	(107,158)	166,600	(132,970)	59,442	(25,812)	55.5%

今後の方向性

令和5年3月に全戸配布した新しいハザードマップ「なごやハザードマップ防災ガイドブック」については、関係局と連携し、各種訓練など様々な機会を捉え、周知・啓発を実施する。また、防災体制の維持・強化をはかるとともに、避難対策などを推進するため、関連システムについて良好な状態での運用を継続する。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策17）

個別事業の実施状況

施策 17 防災・減災対策を進めるとともに、地域防災力の向上を支援します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
水防法改正等 に伴うハザード マップの見直し・作成 (河川工務課)	想定しうる最大規模の洪水・ 内水・高潮等を前提とした浸 水想定区域や避難行動等を 周知するため、ハザードマッ プの見直し・作成を実施	作成・配布	ハザードマップの印刷・ 配布	☆☆☆☆	0 (0)	53,694 (20,064)	1
(関連成果指標)①	備考	他局との共管事業			基準年度	元	
土木事務所の 防災体制の維持・強化 (企画経理課)	頻繁に発生する台風、ゲリラ 豪雨や、発生が危ぶまれる 南海トラフ巨大地震等の災 害へ対応するため、道路や 河川等の応急復旧を行う地 域防災活動拠点である土木 事務所において、関係機関 等と防災訓練を実施すると ともに、得た課題を踏まえてマ ニュアル等の見直しを実施	防災訓練の実施 防災体制の維持・強化 に向けた課題の抽出及 び対応	防災訓練の実施 マニュアル等の見直しの 実施	☆☆☆☆	0 (0)	0 (0)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
道路・河川等の 防災情報の収集・提供 (企画経理課)	市民や企業等の的確な避難 行動を促進するため、道路・ 河川等監視情報システムに より、台風や大雨時の道路 や河川などにおける危険か 所の状況把握を行うととも に、市民への提供を実施	実施 ▶危険か所の画像取得 ▶市民への画像提供	実施 ▶危険か所の画像取得 ▶市民への画像提供	☆☆☆☆	107,158 (107,158)	112,906 (112,906)	4
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

施策シート

施策 19 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます



組織目標 交通事故危険か所や通学路の交通安全対策として歩道整備などを着実に推進することにより、交通事故の発生を抑制する。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
交通事故危険か所の交通安全対策	☆☆☆☆	—		年間交通事故死者数	7	30人未満	55人	30人
通学路等安全対策の実施	☆☆☆☆	—		① 年間交通事故重傷者数		140人未満 (令和7年)	260人 (平成30年)	184人 (令和4年)
道路附属物自動車駐車場の管理	—	↓	↑	備考	第11次名古屋市交通安全計画の目標			

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	1,626,492	(1,338,946)	2,255,421	(1,379,677)	628,929	(40,731)	38.7%

今後の方向性

人身事故件数は近年減少しているものの依然として高い水準であることから、より安心で安全な社会を実現するためにも、引き続き必要な財源の確保につとめ、歩道の整備、防護柵・区画線の設置や路上駐車防止対策などを着実に実施することにより、交通事故そのものの減少に一層積極的に取り組んでいく。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策19）

個別事業の実施状況

施策 19 犯罪や交通事故のない、安心・安全な地域づくりを進めます

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
交通事故危険 か所の交通安全 対策 (道路維持課)	交通事故を無くすため、交 通事故の発生またはそのお それがあり、対策を実施する 必要があるか所において、 道路の状況やこれまでの事 故の形態に応じ、道路のカ ラー化等の交通安全対策を 重点的に実施するとともに、 過去の事故データ等をもとに 事故状況を分析し、ラウンド アバウト等の新たな交通安 全対策を検討・実施	防護柵、路面標示、道 路照明等の設置 新たな交通安全対策の 導入を検討・実施	設置 ▶防護柵 4.4km ▶路面標示 164km ▶道路照明 185基 新たな交通安全対策の 導入に向けた検討の実 施	☆☆☆☆	696,988 (669,520)	1,254,012 (870,576)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
通学路等安全 対策の実施 (道路維持課)	通学路や未就学児が日常的 に集団で移動する経路等の 安全を確保するため、道路 管理者、交通管理者及び学 校関係者等が通学路等を点 検し、交通安全対策を実施	歩道の整備、防護柵の 設置、路肩のカラー化 等の実施	実施 ▶歩道の整備 7.4km ▶防護柵 1.3km ▶路肩カラー化 12.7km 未就学児の移動経路等 の安全対策を実施	☆☆☆☆	662,145 (468,861)	837,176 (435,596)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
道路附属物自動車 駐車場の管理 (自転車利用課)	駐車場の利用台数	4	287,000台	30	286,064台	250,070台	84,042 (17,248)	164,233 (73,505)	7
					△ 12.6%		95.4%		
(関連成果指標)①	備考	吹上駐車場、吹上中央帯駐車場、池下駐車場、大曽根駐車場の総利用台数を増やすことで路上駐車防止対策につとめるもの							
	備考								

施策シート

施策 22

消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します



2

気候変動に

3

すべての人に

健康と福祉を

4

高品質な教育を

みんなに

12

つくる責任

つかう責任

組織目標 生産履歴記帳の推進や講習会などでの農薬の適正使用の啓発を通じて、食の安全・安心を確保する。
家畜伝染病の発生予防・まん延防止のための家畜農家に対する防疫事業を実施し、食の安全・安心を確保する。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
生産段階における食の安全・安心の確保	☆☆☆	—		① 食品が安全・安心だと感じる市民の割合	5	80%以上	83.9%	83.8%
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	339	(339)	138	(138)	△ 201	(△201)	△ 59.3%

今後の方向性

生産段階における食の安全・安心を確保するため、今後も引き続き、農家に対して農薬の適正使用の啓発などを着実に行う。また、引き続き、家畜伝染病の発生予防・まん延防止のための指導を継続する。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策22）

個別事業の実施状況		
施策	22	消費生活の安定・向上と、食の安全・安心を確保します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)		事業概要	計画目標	実績	進ちよく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公 的 関 与
生産段階における食の安全・ 安心の確保 (農業センター、 都市農業課)		畜産農家に向けて、家畜伝 染病の発生子防・まん延防 止のため、巡回指導等の事 業を実施するほか、農家に 対して、安全・安心な農産物 の生産を促すため、農薬の 適正使用を啓発する講習会 や環境保全型農業を推進す る講習会を実施	全畜産農家に対する巡 回指導及び消毒薬・殺 虫剤の配布 農家向け講習会の実施 3回	全畜産農家に対する巡 回指導及び消毒薬・殺 虫剤の配布 1回 農家向け講習会の実施 2回	☆☆☆	339 (339)	138 (138)	4
	(関連成果指標)①	備考					基準年度	30

施策シート

施策 24 身近な自然や農にふれあう環境をつくります



組織 目標	市内に残された樹林地の保全や公園緑地の整備、民有地緑化などにより市街地の緑化をはかるとともに、美しい街路樹づくりを進める。また、公園などの魅力と価値を最大限に引き出し、より多くの市民が利活用できるよう、民間活力の導入や地域連携による公園経営を推進する。また農業基盤整備をはじめとした農業の支援、地産地消の推進、市民農園の開設支援などにより、市民が農にふれあう環境を整える。
----------	--

個別事業	総合計画 掲載事業 進捗	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
美しい街路樹づくりの推進	☆☆☆☆	—	—	① 新たに確保された緑の面積 (5か年)	5	200ha (5か年)	41ha	193ha (4か年)
市街地の緑の創出	☆☆☆☆	—	—					
身近な緑の保全	☆☆☆☆	—	—					
公園経営の推進	☆☆	—	—	② 親しみがある公園があると思う市民の割合	5	70%	64.1%	70.8%
魅力ある都市公園への再生	☆☆☆☆	—	—					
緑のまちづくり活動の推進	☆☆☆☆	—	—					
相生山緑地事業の推進	☆☆☆☆	—	—					
指定管理公園の運営(鶴舞公園はじめ11公園)	—	—	↓					
国営木曽三川公園事業負担金	—	—	→	備考				
地産地消の推進	☆☆☆☆	—	—	③ 身近に農にふれあう環境があると思う市民の割合	5	80%	71.0%	81.4%
市民農園・市民水田等の設置	☆☆☆☆	—	—					
農業公園の運営	☆☆☆☆	—	—					
チャレンジファーマーカレッジ事業の実施	☆☆☆☆	—	—					
農業の支援	☆☆☆☆	—	—					
特定生産緑地への適切な移行推進	☆☆☆☆	—	—	備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	11,222,190	(5,224,557)	24,212,394	(7,442,962)	12,990,204	(2,218,405)	

今後の方向性

今後も公園の魅力と価値を高め、より多くの市民に利活用していただくため、民間活力の導入や地域連携による公園経営を推進するとともに、国費をはじめとするさらなる財源の確保につとめ、引き続き名城公園等の公園緑地事業の進捗をはかる。加えて街路樹について、今後も「街路樹再生なごやプラン」に基づき、計画的な街路樹の維持管理につとめるほか、民有地においては民有地緑化や市民緑地の認定等を促進することを目的とした広報などのPRを実施し、さらなる緑の面積確保につとめる。

また、農業公園については民間活力導入によるさらなる魅力向上につとめるとともに、農業基盤整備をはじめとした農業の支援、地産地消の推進などにより、市民が農にふれあう環境を整える。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策24）

個別事業の実施状況

施策 24 身近な自然や農にふれあう環境をつくります

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進捗状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
公園経営の推進 (緑地利活用課)	公園の魅力と価値を高め、より多くの市民に利用し、活用していただくため、民間活力の導入による整備及び運営管理を実施	実施 8公園(累計)	実施 3公園(累計)	☆☆	6,651 (2,687)	22,386 (9,996)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
魅力ある都市公園への再生 (緑地事業課)	公園の利活用を促進するため、施設の老朽化対策、バリアフリー化、時代に沿ったニーズへの対応を進め、公園の魅力や利便性を向上させる再整備を推進	都市公園の面的な再整備 ▶事業完了 10公園(5か年)	都市公園の面的な再整備 ▶事業完了 11公園(4か年)	☆☆☆☆	700,994 (94,570)	707,177 (62,636)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
美しい街路樹づくりの推進 (緑地維持課)	街路樹再生指針に基づき、計画的な街路樹の更新・撤去等により安全性を確保するとともに、名古屋の顔となるシンボル並木の形成によるまちの魅力を創出	質の高い街路樹管理 シンボル並木の形成 計画的な更新・撤去による安全対策の実施	質の高い街路樹管理の実施 シンボル並木の形成の実施 6路線 計画的な更新・撤去による安全対策の実施 ▶更新 1,119本 ▶撤去 1,164本	☆☆☆☆	1,437,407 (1,360,176)	2,266,565 (1,741,285)	3
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
緑のまちづくり活動の推進 (緑地利活用課)	緑の保全や創出など、緑のまちづくりに関わる人々の環をを広げ、良好な都市環境の形成をはかるため、緑のまちづくり活動団体等への支援など、地域連携による緑のまちづくりを実施	緑のまちづくり活動団体等への支援 主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数 192,000人(5か年) 地域連携による新たな整備及び運営管理のモデル実施及び制度設計	緑のまちづくり活動団体等への支援 主な緑のまちづくり活動に携わった市民の延べ人数 149,000人(4か年) 地域連携による新たな整備及び運営管理のモデル実施及び制度設計 ▶運用開始(令和3年度)	☆☆☆	92,354 (86,811)	110,196 (86,027)	8
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
市街地の緑の創出 (緑地事業課、緑地維持課)	新たな緑を創出し、良好な都市環境の形成をはかるため、緑化地域制度や助成制度等を活用し、民有地緑化を促進するとともに、災害時に避難場所となる公園や、歩いて行くことができる身近な公園を計画的に整備	緑化地域制度等により確保された緑の面積 645ha(累計) 都市公園の整備推進 ▶事業完了 3公園(5か年)	緑化地域制度等により確保された緑の面積 646ha(累計) 都市公園の整備推進 ▶事業完了 4公園(4か年)	☆☆☆☆	6,998,365 (2,222,365)	19,120,572 (4,087,726)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策24）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公 的 関 与
身近な緑の保 全 (緑地事業課、 緑地維持課)	緑豊かな潤いのある都市環 境を市民に提供するため、 特別緑地保全地区など緑地 保全制度の活用により市内 に残された樹林地等の緑を 保全	緑地保全施策の実施	緑地保全施策の実施 ▶特別緑地保全地区 ▶市民緑地 ▶保存樹林	☆☆☆☆	24,192 (9,308)	69,342 (68,208)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
相生山緑地事 業の推進 (緑地事業課)	相生山緑地の環境を保全す るとともに、地域の防災性を 高めることやユニバーサルデ ザインの観点を取り入れるこ とにより、誰もが人や自然と ふれあえる名古屋の新しい 名所とするための事業を推 進	相生山緑地の基本計画 の策定	相生山緑地の基本計画 策定に向けた環境調査 の実施 緑地計画検討会の実施	☆☆☆☆	2,527 (2,527)	5,508 (5,508)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
地産地消の推 進 (都市農業課)	地域の生産者と消費者がよ り身近な関係を築く環境を整 えるため、朝市・青空市の支 援、地産地消イベントの開 催、食農教育の推進により、 地産地消を総合的に推進	朝市・青空市の支援 36か所 地産地消イベントの開催 7回 給食講師派遣 40回	朝市・青空市の支援 37か所 地産地消イベントの開催 7回 給食講師派遣 56回	☆☆☆☆	8,637 (8,637)	20,860 (12,859)	6
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	
市民農園・市民 水田等の設置 (都市農業課)	市民に農とふれあう機会を提 供するため、農家や企業等 が行う市民農園の開設を支 援するとともに、市民水田・ 田んぼアートなどの体験イ ベントを推進	農家や企業等が新たに 開設した市民農園の区 画数 330区画(5か年) 市民水田 1か所 田んぼアート 1か所	農家や企業等が新たに 開設した市民農園の区 画数 145区画(4か年) 市民水田 1か所 田んぼアート 1か所	☆☆☆	13,196 (8,501)	12,619 (8,711)	7
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	
農業公園の運 営 (都市農業課、 農業センター)	市民が自然とふれあいなが ら、農業とその大切さを学ぶ ため、農業センター、東谷山 フルーツパーク、農業文化 園を運営	実施 ▶農業センターへの民間 活力の導入	実施 ▶公募 ▶指定管理者の選定 ▶基盤整備	☆☆☆☆	339,458 (304,185)	476,820 (383,470)	7
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	
チャレンジ ファーマーカ レッジ事業の実 施 (農業センター)	新しい農の担い手の育成の ため、意欲を持って新たに 「農」や「農業」に関わろう とする人が、野菜の栽培技術 や知識を習得することがで きるチャレンジファーマーカ レッジ事業を実施	実施 ▶チャレンジファーマー カレッジ 受講者 8人	実施 ▶チャレンジファーマー カレッジ 受講者 8人	☆☆☆☆	515 (270)	397 (117)	6
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策24）

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
農業の支援 (都市農業課、 農業センター)	都市農業を支援するため、 農業生産基盤である農業用 水路の更新計画を作成し、 整備を推進するとともに、農 家等の農業用施設・機械の 導入などに対する補助を実 施	農業用水路整備 (市街化調整区域) ▶整備延長 5,500m(5か年) 農家等の農業用施設・ 機械の導入などに対す る補助の実施 農業ボランティアの育成 30人	農業用水路整備 (市街化調整区域) ▶整備延長 4,475m(4か年) 農家等の農業用施設・ 機械の導入などに対す る補助の実施 農業ボランティアの育成 30人	☆☆☆☆	176,483 (88,734)	165,407 (14,928)	6
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	
特定生産緑地 への適切な移 行推進 (都市農業課)	都市農地の保全のため、こ れに寄与する新制度につい て、基準等を整備し、指定か ら30年が到来する生産緑地 所有者に対する周知、意向 調査及び円滑な移行手続き を実施	制度の周知 移行手続きの実施	意向調査の実施 移行手続きの実施	☆☆☆☆	0 (0)	149 (149)	1
(関連成果指標)③	備考				基準年度	30	

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
指定管理公園の運営(鶴舞公園はじめ11公園) (緑地利活用課)	各施設の利用者満足度の平均	5	95%	30	—	92.9%	1,399,825 (1,014,200)	1,213,963 (940,909)	2
					—		△ 13.3%		
	鶴舞公園をはじめとする指定管理者制度を導入している11公園(令和4年4月1日より10公園)で、適切な維持管理 と運営管理を実施								
(関連成果指標)②	備考								
国営木曽三川公園 事業負担金 (緑地事業課)	負担金の支出	4	実施	30	実施	実施	21,586 (21,586)	20,433 (20,433)	2
					—		△ 5.3%		
	国営木曽三川公園の建設にかかる愛知県負担金の一部を本市負担金として支出するもの								
(関連成果指標)②	備考								

施策シート

施策 26 良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織目標 都市計画道路の整備、道路と鉄道の立体交差化、橋りょうの整備を進めることにより、良好な都市基盤を整備し、機能的な都市活動と安心・安全な市民生活を確保する。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
側溝改良等	—	—	↑	① 都市基盤（道路、公園、上下水道など）が整備され、生活しやすいまちだと思ふ市民の割合	5	90%以上	90.2%	90.5%
弥富相生山線の調査検討	—	—	—					
県体育館移転に伴う地下横断歩道の整備	—	—	↑	備考				
都市計画道路の整備	☆☆☆☆	—	—	② 主要な幹線道路において交通円滑化が達成された区間数（5か年）	5	11区間（5か年）	3区間	8区間（4か年）
道路と鉄道の立体交差化の推進	☆☆☆	—	—					
橋りょうの整備	☆☆☆☆	—	—					
相生山緑地周辺の渋滞対策	—	—	↑	備考				
公共事業用代替用地取得	—	—	↓	③ 必要な代替用地の取得率	5	100%	100%	100%
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	7,725,807	(2,599,551)	5,076,580	(874,705)	△ 2,649,227	(△1,724,846)	

今後の方向性

今後とも良好な都市環境を整備し、機能的な都市活動と安心・安全な市民生活を確保するため、必要な財源の確保につとめ、各事業を計画的に推進していく。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策26）

個別事業の実施状況	
施策 26	良好な都市基盤が整った生活しやすい市街地を形成します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
都市計画道路 の整備 (道路建設課)	交通の円滑化や機能的な都市活動と安全・安心な市民生活の確保をはかるため、都市計画道路の整備を推進	推進 ▶小幡西山線はじめ22路線(5か年)	推進 ▶小幡西山線はじめ22路線(4か年)	☆☆☆☆	2,086,756 (400,183)	1,390,115 (185,972)	2
(関連成果指標)②	備考	他局との共管事業			基準年度	30	
道路と鉄道の 立体交差化の 推進 (道路建設課)	地域分断の解消や交通の円滑化をはかるため、道路と鉄道の立体交差化を推進	連続立体交差事業の推進 ▶事業化 名鉄名古屋本線 (山崎川～天白川間) 単独立体交差事業の推進 ▶事業完了 小幡架道橋はじめ 2か所(5か年) ▶事業化 名鉄名古屋本線 呼続地区	連続立体交差事業の推進 ▶事業化調整 名鉄名古屋本線 (桜駅～本星駅間) 単独立体交差事業の推進 ▶事業完了 1か所(令和元年度) ▶事業中 1か所 ▶事業化 名鉄名古屋本線 呼続地区 (令和2年度)	☆☆☆	1,547,786 (42,937)	1,214,533 (95,944)	2
(関連成果指標)②	備考	他局との共管事業			基準年度	30	
橋りょうの整備 (道路建設課)	地域分断や渋滞の解消など交通の円滑化をはかるとともに、災害時に緊急車両・物資の輸送ルートを確認するため、都市計画道路や緊急輸送道路等の橋りょうの新築、改築を実施	橋りょう整備 ▶水分橋はじめ4橋 (5か年)	橋りょう整備 ▶水分橋はじめ2橋 (4か年) 完了 ▶1橋	☆☆☆☆	2,480,454 (635,064)	1,277,071 (69,938)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策26）

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公 的 関 与
					増減		増減		
側溝改良等 (道路維持課)	側溝改良の実施	4	実施	30	実施	実施	458,174 (448,605)	564,243 (43,960)	2
					—		23.2%		
	降雨等による道路冠水によって引き起こされる道路の損傷、宅地への浸水、交通の障害を極力抑えるため、側溝等の新設、改良及び修繕を実施								
(関連成果指標)①	備考								
公共事業用代替用地取得 (用地管理課)	必要な代替用地の取得	5	実施	30	実施	実施	1,145,706 (1,065,831)	365,097 (351,370)	3
					—		△ 68.1%		
	事業関係者の移転先として代替用地を取得するもの								
(関連成果指標)③	備考								
相生山緑地周辺の 渋滞対策 (道路建設課)	渋滞対策の実施	5	実施 2エリア 効果検証	30	検討 2エリア	効果検証	6,931 (6,931)	11,386 (11,386)	2
			—		64.3%				
	相生山緑地周辺の野並・島田交差点エリアにおける渋滞は、地域における長年の課題であり、かねてより対策のご要望を受けていた。そのため、これらエリアにおける渋滞対策を実施する								
(関連成果指標)②	備考								
弥富相生山線の調査検討 (道路建設課)	折衷案の検討	5	実施	—	—	実施	— (-)	11,187 (11,187)	3
					—		—		
	弥富相生山線における折衷案の検討を実施する。								
(関連成果指標)①	備考	令和4年度開始							
県体育館移転に伴う地下横断歩道の整備 (道路維持課)	整備工事の実施	7	実施	3	実施	実施	48,493 (48,493)	242,948 (104,948)	2
					—		401.0%		
	県体育館の移転に伴い、地下鉄名城公園駅から名城公園北園へ道路を横断する歩行者が大幅に増加することが予想されることから、歩行者が安全で快適に移動できる地下横断歩道の整備を実施								
(関連成果指標)①	備考								

施策シート

施策	27	歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します	SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS	3 すべての人に 健康と福祉を	11 住み続けられる まちづくりを
----	----	-----------------------------	-------------------------------------	--------------------	----------------------

組織 目標	自転車駐車場の整備や自転車等放置禁止区域の指定、コミュニティサイクルの推進などにより市内の放置自転車等の台数を減少させるとともに、自転車通行空間の整備により、安全で快適な道路環境を確保する。
----------	---

個別事業	総合計画 掲載事業 進捗よく	その他の事業 実績 決算額	成果指標	目標値		実績値	
				年度	値	平成30年度	令和4年度
適正な自転車駐車の推進と自転車通行空間の整備	☆☆☆☆	—	① 歩行者と自転車のそれぞれが、安全で快適に通行していると感じている市民の割合	5	33%	27.7%	38.3%
都心部自転車対策の推進	☆☆☆☆	—					
自転車の活用推進	☆☆☆☆	—	備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	989,928	(689,650)	973,517	(583,656)	△ 16,411	(△105,994)	

今後の方向性
放置自転車等の台数については減少しているが、今後も安全で快適な道路環境の確保に向けて、放置自転車対策や自転車通行空間の整備など、各事業を着実に実施していく必要がある。また、都心部における民間主体によるコミュニティサイクルの導入や自転車活用推進計画に基づく事業を進めるなど、歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保するための取り組みを進めていく。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策27）

個別事業の実施状況

施策 27 歩行者や自転車にとって安全で快適な道路環境を確保します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちょく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
適正な自転車 駐車場の推進と 自転車通行空間の整備 (自転車利用課)	歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境づくりに貢献するため、放置自転車等の撤去等を実施するとともに、自転車の安全で快適かつ適正な利用に向け、自転車通行空間の整備により、道路空間の中で歩行者、自転車、自動車の構造的・視覚的な分離を実施	放置自転車等の撤去 ▶放置されている自転車等の台数 11,500台以下 自転車通行空間の整備 ▶整備延長 115km(累計)	放置自転車等の撤去 ▶放置されている自転車等の台数 8,331台 自転車通行空間の整備 ▶整備延長 119.0km(累計)	☆☆☆☆	932,467 (688,358)	853,933 (514,383)	4
(関連成果指標)①	備考					基準年度	30
都心部自転車 対策の推進 (自転車利用課)	都心部において、歩行者や自転車に配慮した安全で快適な道路環境づくりに貢献するため、路上自転車駐車場整備などの対策を推進するとともに、民間主体によるコミュニティサイクル事業を導入	路上自転車駐車場の整備 7,000台(累計) 民間主体によるコミュニティサイクル事業の導入	路上自転車駐車場の整備 7,807台(累計) 民間主体によるコミュニティサイクル事業の普及促進	☆☆☆☆	57,461 (1,292)	119,584 (69,273)	7
(関連成果指標)①	備考					基準年度	30
自転車の活用 推進 (自転車利用課)	安全で快適な自転車通行空間等の整備とともに、健康増進、観光などへの自転車の活用推進につなげるため、関係機関と調整を進め、さまざまな目的による自転車の活用推進を検討	実施 ▶自転車活用推進計画の策定	実施 ▶自転車活用推進計画に基づく施策・事業の推進	☆☆☆☆	0 (0)	0 (0)	7
(関連成果指標)①	備考					基準年度	30

施策シート

施策 35

港・水辺の魅力向上をはかります



組織目標 堀川において、市民団体との協働による水質浄化の取り組みなどにより、良好な水辺環境の形成をはかるとともに、オープンカフェやイベントを実施するなど、水辺空間を利活用することでにぎわいづくりを進め、魅力向上をはかる。

個別事業	総合計画 掲載事業 進ちよく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
うるおいと活気のある堀川再生	☆☆☆	—		① 河川空間を利活用したイベントの開催日数	5	130日	117日	158日
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	46,997	(45,127)	91,746	(89,019)	44,749	(43,892)	
							95.2%

今後の方向性

今後は、継続した水質浄化の取り組みなどにより、良好な水辺環境の形成をはかるとともに、堀川納屋橋地区のライトアップ整備などのこれまでに取り組んできた各事業の活性化や新たな水辺活用事業など、堀川の魅力向上に向けたにぎわい施策に着実に取り組んでいく。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策35）

個別事業の実施状況

施策 35 港・水辺の魅力向上をはかります

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちよく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
うるおいと活気 のある堀川再生 (河川計画課)	水辺空間に親しむ機会を増やすため、民産学官の協働により、河川空間を活用することでにぎわいづくりを進めるとともに、水質浄化を進め良好な水辺環境の形成を推進	河川空間を活用したイベントの開催日数 130日 堀川における水質の環境目標値の達成率 (BOD) 100%	河川空間を活用したイベントの開催日数 158日 堀川における水質の環境目標値の達成率 (BOD) 75%	☆☆☆	46,997 (45,127)	91,746 (89,019)	2 ・ 8
(関連成果指標) ①	備考				基準年度	30	

施策シート

施策 38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します



組織 目標	名古屋のデスティネーションとして世界に誇れる東山動植物園をめざすために、東山の資産を活かしながら、展示、環境教育、種の保存、調査研究を強化推進するとともに、多様な手法による情報発信や、年間を通じたイベントを実施し、魅力向上をはかる。	総合計画 掲載事業 進ちよく		その他の事業 実績 決算 額	成果指標	目標値		実績値	
						年度	値	平成30年度	令和4年度
	東山動植物園の再生	☆☆☆	—		① 観光客の満足度	5	90% (令和5年)	78.2% (平成29年)	77.1% (令和4年)
	東山動植物園及び東山展望塔の運営	—	→ →		備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	2,308,577	(1,369,311)	4,146,276	(1,517,887)	1,837,699	(148,576)	
							79.6%

今後の方向性

名古屋のデスティネーションとして世界に誇れる東山動植物園をめざすために、環境教育や種の保存に一層積極的に取り組むとともに、引き続き展示施設の整備を進めるほか、年間を通じたイベントの実施、多様な手法による情報発信などにも取り組むことで、さらなる魅力向上につとめる。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策38）

個別事業の実施状況

施策 38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進捗状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的関与
東山動植物園の再生 (再生整備課)	名古屋のデスティネーションとして世界に誇れる東山動植物園をめざすため、展示、環境教育、種の保存、調査研究を強化推進	整備完了 ▶重要文化財温室前館の保存修理 ▶洋風庭園 部分整備完了 ▶アジアの高地エリア ▶アジアの熱帯雨林エリア ▶南アメリカエリア ▶アフリカの森エリア ▶ふれあい動物エリア ▶東山の森づくり 整備中 ▶アフリカのサバンナエリア ▶にぎわいのある快適な園内空間 希少動物の導入	整備完了 ▶重要文化財温室前館の保存修理 ▶洋風庭園 部分整備完了 ▶アジアの高地エリア 整備中 ▶アジアの高地エリア ▶アジアの熱帯雨林エリア ▶南アメリカエリア ▶花と緑のふれあいゾーン ▶にぎわいのある快適な園内空間 希少動物の導入に向けた調整	☆☆☆	622,516 (175,812)	2,514,550 (771,561)	6
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的関与
東山動植物園及び東山展望塔の運営 (東山総合公園管理課、東山動物園、東山植物園)	動植物園入園者数	18	350万人	30	2,542,037人	2,384,123人	1,686,061 (1,193,499)	1,631,726 (746,326)	6
					△ 6.2%		△ 3.2%		
(関連成果指標)①	備考								
	東山動植物園及び東山展望塔の維持管理、運営								

施策シート

施策 45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



組織目標 計画的な点検や整備、補修などを行うことで、道路施設、排水施設及び公園施設などの局保有施設を適切に維持管理し、長寿命化をはかる。また民間活力の導入などにより局保有施設の有効活用を進める。

個別事業	総合計画 掲載事業 進捗よく	その他の事業		成果指標	目標値		実績値	
		実績	決算額		年度	値	平成30年度	令和4年度
道路の維持・補修	☆☆☆☆	—	—	① 公共施設の維持管理状態に不満を感じている市民の割合	5	16%	22.5%	28.6%
排水路の改良・補修	☆☆☆☆	—	—					
ポンプ施設の更新・整備	☆☆☆☆	—	—					
公園の維持管理	☆☆☆☆	—	—					
公共土木施設の有効活用	☆☆☆☆	—	—					
排水路維持	—	↑	↑					
河川環境維持	—	→	↑					
ポンプ所維持	—	—	↑					
東山公園・平和公園の維持管理	—	—	→					
農業用施設維持管理	—	→	→					
農業用水路整備事業	—	↑	↑					
道路境界の緊急先行測量	—	—	—					
中村土木事務所の移転改築	—	—	↑	備考				
道路橋の維持・補修	☆☆☆☆	—	—	② 定期点検で早期措置と診断された道路橋の補修等に着手した割合	5	100%	22.8%	87.7%
				備考				

事業費の状況	平成30年度決算額(千円) (うち一般財源)		令和4年度支出済額(千円) (うち一般財源)		増減額(千円)		増減割合
	16,808,934	(10,145,979)	22,992,642	(10,090,446)	6,183,708	(△55,533)	36.8%

今後の方向性

道路施設、河川施設及び公園施設などの局保有施設については、今後とも必要な予算の確保につとめ、アセットマネジメントの考え方に基づき、個別計画について必要な見直しを行いながら、計画的な維持管理につとめ、長寿命化をはかる。また、局保有資産の有効活用及び地域貢献活動の場としての活用をより一層進めるため、引き続き民間企業等への積極的な働きかけを行う。

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策45）

個別事業の実施状況

施策 45 公共施設の適切な維持管理、保有資産の有効活用を進めます

◆総合計画掲載事業

事業名 (所管課)	事業概要	計画目標	実績	進ちよく 状況	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
道路の維持・補修 (道路維持課)	車道舗装や歩道橋をはじめとする道路附属物等の計画的な維持管理のため、点検及び劣化状況に応じた適切な補修を実施するとともに、ヒートアイランド現象や騒音などの都市の環境に応じた舗装材の検討を実施	舗装道補修 道路附属物等の点検・補修 都市の環境に応じた舗装材の検討	舗装道補修 56ha 道路附属物等の点検・補修 ▶横断歩道橋 点検 79橋 補修 14橋 都市の環境に応じた舗装材の検討	☆☆☆☆	8,482,011 (4,366,667)	10,850,368 (4,225,759)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
道路橋の維持・補修 (道路建設課)	道路橋の計画的な維持管理及び長寿命化による維持管理経費の抑制と平準化を行うため、定期的な点検による健全度の把握を行うとともに、点検結果に基づき予防保全型の補修を実施	点検 補修・塗装	点検 382橋 補修 75橋 塗装 8橋	☆☆☆☆	1,923,045 (613,112)	2,806,432 (565,084)	2
(関連成果指標)②	備考				基準年度	30	
排水路の改良・補修 (河川工務課)	排水路の計画的な維持管理のため、定期的に管路内部の点検・調査を実施し、損傷状態に応じ機能向上を含め、計画的に改良・補修を実施	改良 64.2km(累計) 調査・補修	改良 92.4km(累計) 調査 111km 補修 1,400箇所	☆☆☆☆	1,027,573 (999,024)	2,264,607 (756,178)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
ポンプ施設の更新・整備 (河川工務課)	平成30年7月豪雨のような近年激甚化する豪雨に対応するため、ポンプ設備の状態を把握し、計画的な点検や適切な部品交換など必要な機能整備を実施	更新・整備等 239か所(累計)	更新・整備等 226か所(累計)	☆☆☆☆	537,575 (351,313)	540,138 (120,882)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
公園の維持管理 (緑地維持課)	安心・安全で緑豊かな潤いのある都市環境を市民に提供するため、公園の適切な維持管理を実施	実施 ▶公園施設を更新した公園数 869か所(累計)	実施 ▶公園施設を更新した公園数 802か所(累計)	☆☆☆☆	4,179,134 (3,240,241)	4,736,828 (3,602,229)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	
公共土木施設の有効活用 (道路利活用課、緑地利活用課)	地域や市民に愛される魅力あるまちづくりを進めるため、道路や河川、公園などの公共土木施設を市民や企業による地域貢献の場として活用し、地域の活性化を推進	地域貢献の場としての活用	地域貢献活動の場の提供及び民間活力の導入 ▶歩道橋ネーミングライツパートナー事業 契約橋数 112橋 ▶街路灯パートナー事業 協定基数 104基 ▶スポンサー花壇事業 花壇数 20か所	☆☆☆☆	0 (0)	0 (0)	2
(関連成果指標)①	備考				基準年度	30	

個別事業の実施状況（緑政土木局 施策45）

◆その他の事業

事業名 (所管課)	指標	年度	目標	基準 年度	基準年度 実績	令和4年度 実績	基準年度 決算額(千円) (うち一般財源)	令和4年度 支出済額(千円) (うち一般財源)	公的 関与
					増減		増減		
排水路維持 (河川工務課)	しゅんせつの量	4	530m³	30	497m³	8,340m³	152,605 (152,605)	528,807 (131,386)	2
	1578.1%		246.5%						
	排水路・ため池の修繕・しゅんせつ等の維持管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考	国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」は令和2年度まで							
河川環境維持 (河川工務課)	除草・清掃の面積	4	5,200a	30	5,226a	5,264a	185,914 (183,033)	234,324 (204,923)	2
	0.7%		26.0%						
	河川等の除草・清掃、樹木せん定、施設点検などの維持管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考								
ポンプ所維持 (河川工務課)	ポンプ施設の維持管理	4	実施	30	実施	実施	179,775 (164,304)	345,350 (238,299)	2
	—		92.1%						
	雨水の自然排水が困難な低地帯等の排水を行うポンプ施設の維持管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考								
東山公園・平和公 園の維持管理 (東山総合公園管 理課)	東山公園・平和公園の維持 管理	4	実施	30	実施	実施	133,738 (133,719)	130,075 (123,086)	2
	—		△ 2.7%						
	東山公園・平和公園など無料区域の施設の維持管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考								
農業用施設維持管 理 (河川工務課)	除草面積 しゅんせつの量	4	500a 348m³	30	675a 284m³	666a 315m³	52,040 (52,040)	54,807 (54,807)	2
	6.1%		5.3%						
	農業用水路・ため池の除草・しゅんせつ、農業用施設の修繕等の維持管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考								
農業用水路整備事 業 (河川工務課)	農業用施設の更新箇所数	4	5か所	30	4か所	5か所	11,209 (11,209)	16,266 (4,266)	2
	25.0%		45.1%						
	農業用水路の改良及び整備等を行うもの								
(関連成果指標)①	備考								
道路境界の緊急先 行測量 (道路利活用課)	道路境界の座標データ化面 積	4	3.1km2	—	—	3.1km²	— (-)	63,547 (63,547)	2
	—		—						
	道路境界を座標データで管理を行うもの								
(関連成果指標)①	備考	令和4年度開始							
中村土木事務所の 移転改築 (道路維持課)	移転改築の実施	4	実施	30	実施	実施	1,490 (1,490)	421,093 (0)	2
	—		28161.3%						
	中村区役所は昭和39年築で全区役所の中で最も古く、建物の老朽化が著しいため、周辺公共施設を複合庁舎として移転することとし、民間活力を活用した整備手法による施設の再編整備を実施								
(関連成果指標)①	備考								